



安全・安心ガイドブック



芦屋市

はじめに

安全・安心に暮らしたいというのは、全ての人の共通の願いです。しかし残念なことに、犯罪に巻き込まれるなどして大切な生命や財産が失われるという不幸な出来事が起きています。

芦屋市では、児童の登下校時を中心に様々な団体が、自主的に児童の見守り活動や地域のパトロール活動を展開しており、刑法犯罪認知件数は年々減少しています。一方、近年はスマートフォンやパソコンを使う中で巻き込まれる犯罪が問題となり、手口が多様化する特殊詐欺の発生件数と被害額は増加の傾向にあります。

犯罪・事故は決して他人事ではありません。自宅やその周辺、公園、最寄駅、通学路など、多くは私たちの身近な場所で起きています。安全・安心な地域づくりは行政機関や各団体の活動だけでは決して十分とはいえません。

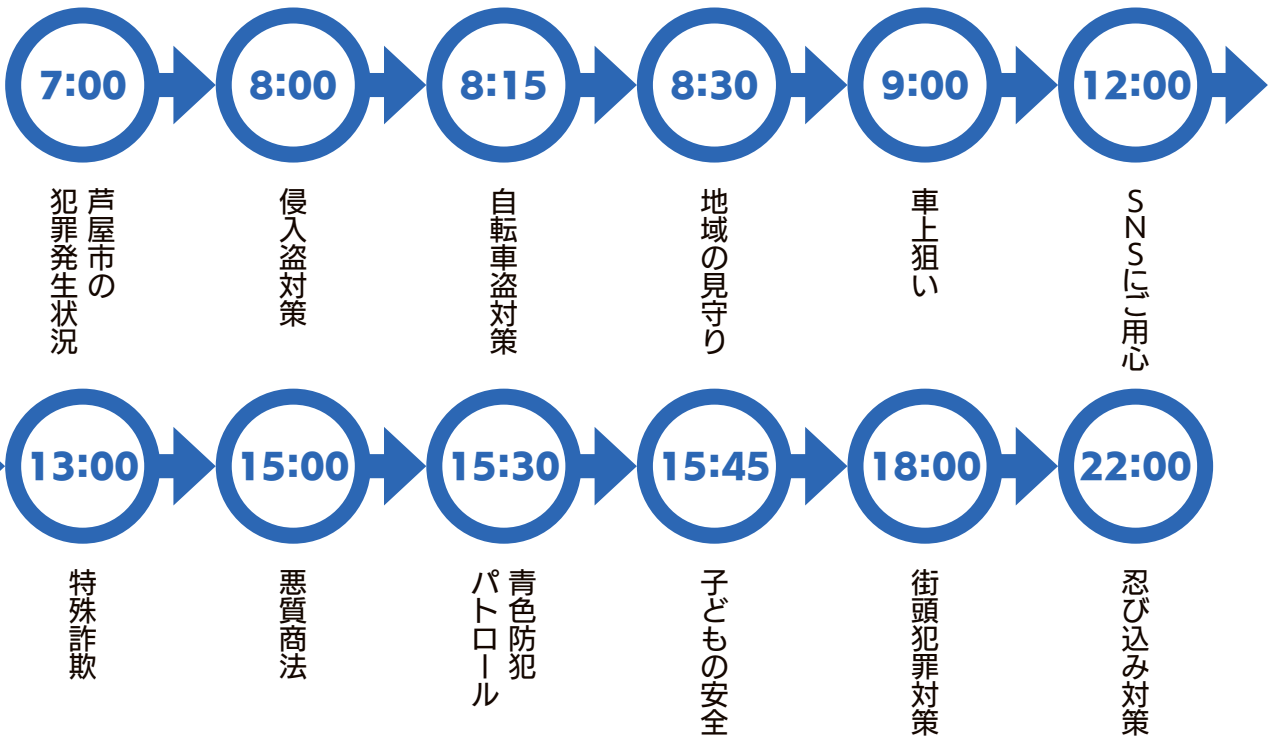
犯罪の被害を未然に防ぐためには、まず自分自身で対策をとる必要があります。本冊子では、芦屋市内の生活安全に関する取組みや、市内で多く発生する犯罪についての対策方法を紹介しています。自分や大切な人を守るため、できることから取り組んでいきましょう。

もくじ

はじめに	1、2	SNSにご用心	10
芦屋市の犯罪発生状況	3	特殊詐欺	11～13
侵入盗対策	4	悪質商法	14
自転車盗対策	5	青色防犯パトロール	15
地域の見守り	6	子どもの安全	16
まちづくり防犯グループ インタビュー	7	街頭犯罪対策	17
芦屋市青少年育成愛護委員	8	忍び込み対策	18
車上狙い	9	関係機関連絡先一覧	19



芦屋市では日々多くの犯罪が発生しています。
犯罪から身を守るためには、どうすればよいのでしょうか。
とある家族の一日の生活を見ながら考えていきましょう。



芦屋市の犯罪発生状況



●年間約600件の事件が発生中！



家族でテレビを見ていると、芦屋市の犯罪発生状況に関する特集コーナーが始まりました。

芦屋市では、1年間に**600～700件程度**の犯罪が発生しています。

発生件数は減少傾向にありますが、それでも1日1件以上のペースで事件が起こっています。

主な刑法犯罪の認知件数

	ひったくり	自転車盗	車上ねらい	空き巣	忍び込み
平成29年	6	144	49	10	6
平成28年	10	140	44	12	9
平成27年	14	171	25	22	6



自分の身を守る方法を一緒に
考えていきましょう。

「子どもを守る110番の家・店」
オリジナルキャラクター あしやのアッシー

侵入盗対策



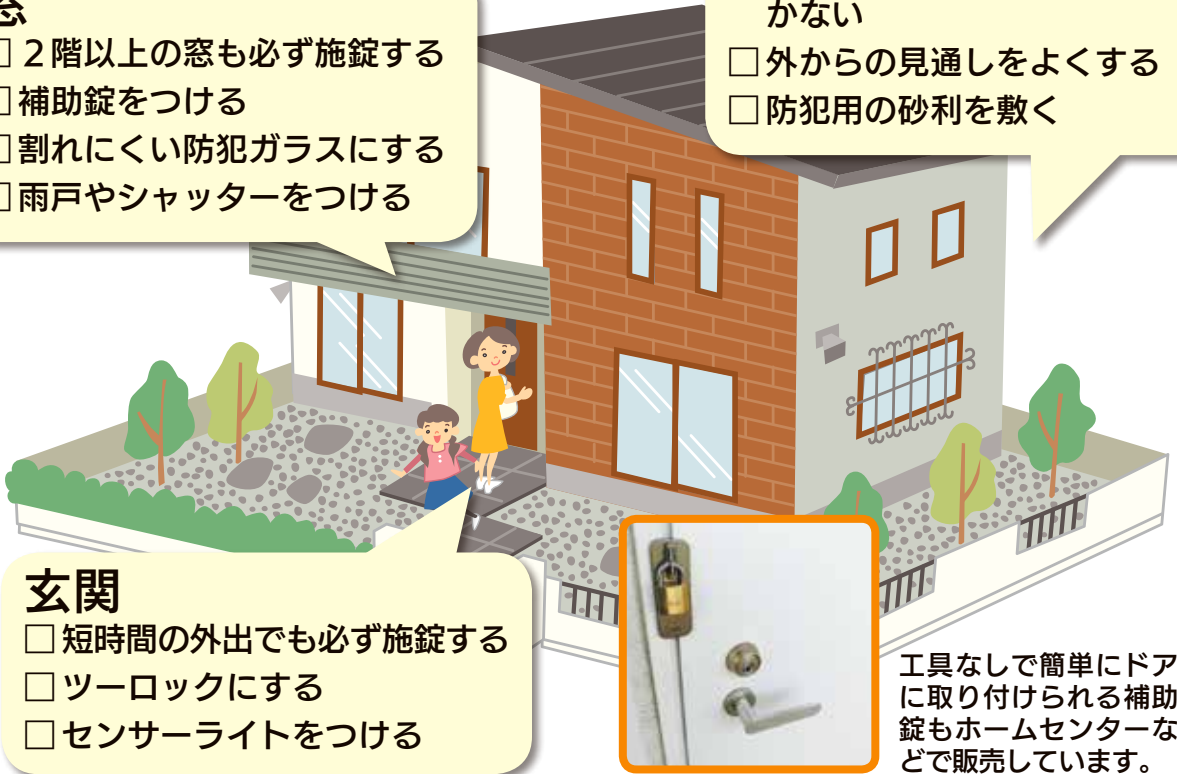
●鍵の閉め忘れがないように！

窓

- 2階以上の窓も必ず施錠する
- 補助錠をつける
- 割れにくい防犯ガラスにする
- 雨戸やシャッターをつける

庭・家の周り

- 2階への足場となるものを置かない
- 外からの見通しをよくする
- 防犯用の砂利を敷く



玄関

- 短時間の外出でも必ず施錠する
- ツーロックにする
- センサーライトをつける

工具なしで簡単にドアに取り付けられる補助錠もホームセンターなどで販売しています。

家を出るとき、戸締りはできているでしょうか。

朝、ごみを出しに行くときや、夕方買い物に出かけているときなど少しの間を狙われています。**少しの外出でも必ず施錠**することを心がけましょう。

ホームセンターなどで販売されている補助錠のような防犯グッズを活用するのも侵入盗の対策として有効です。

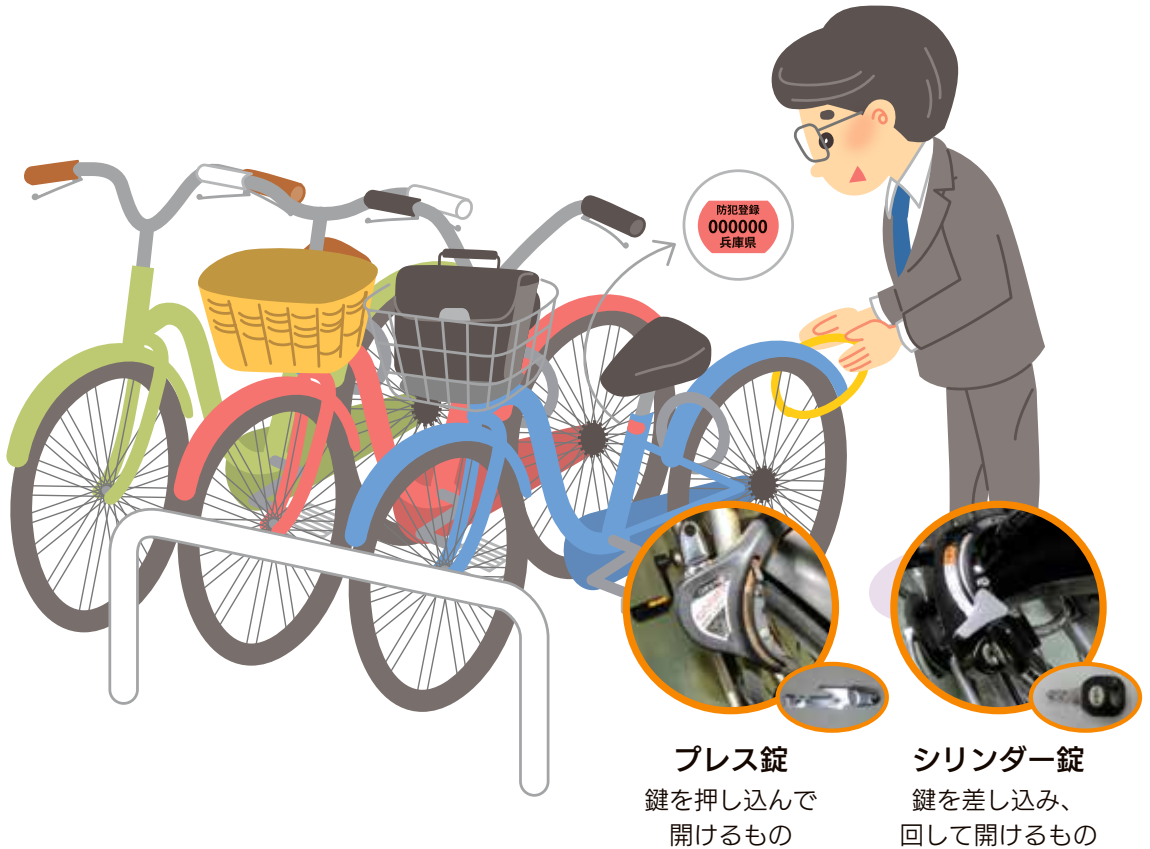
また、地域でのあいさつなどの声掛けが犯罪発生の予防につながります。



市内では夕方の空巣発生件数が
や多いです。
自分の家は対策ができているか
チェックしてみましょう。



●市内発生件数No.1 ツーロックで対策を



会社についてお父さん、自転車を止めるときに注意することはなんでしょうか。

芦屋市内で最も発生件数の多い犯罪の1つが、**自転車盗**です。

無施錠のものがまず狙われるので、必ず施錠しましょう。

また、プレス錠は簡単に開錠できてしまいます。

シリンダー錠がついた自転車を選ぶ、備え付けのカギに加えてもう1つカギをつける
ツーロックを徹底するなど心がけましょう。



鍵は忘れずにかけてましょう。
防犯登録も必ずしておきましょう。



子どもたちが小学校に登校する様子をたくさんの地域の方が見守っています。

芦屋市では、小学生の登校時・下校時には**青少年育成愛護委員**や**PTA**をはじめ、様々な地域の方が見守り活動をしてくださっています。

見守り活動を行う団体の1つに、**まちづくり防犯グループ**があります。

まちづくり防犯グループとは、子どもを狙う事件が多発したことを機に各地で結成された、市民による自発的な地域防犯組織で、57団体（平成31年3月現在）が活動しています。

芦屋市まちづくり防犯グループ連絡協議会

市内の防犯グループから成る**芦屋市まちづくり防犯グループ連絡協議会**では、年に3回会議を開催しています。

芦屋警察署生活安全課の方から直近の犯罪状況についてお話を伺う、小学校区ごとに意見交換をするなどして、連携の強化や見守り活動の充実に向けて取り組んでいます。



まちづくり防犯グループインタビュー

浜町メンズクラブ 岡田 龍一 氏

浜町メンズクラブは2003年に結成し、子どもを狙う事件が多数発生したことを受けて子どもの見守り活動を始めました。

主な活動として、宮川小学校の校門で毎朝子どもたちにハイタッチをしながらあいさつをしています。子どもたちが大きな声であいさつを返してくれることで、私も元気をもらっています。また、地域の方々が浜町メンズクラブの存在を認識くださっており、様々な人に声をかけていただけることもうれしく思います。

ただ、メンバーの高齢化に悩んでいるため、若い世代の方にもぜひご参加いただきたいです。



打出小槌町自主防災・防犯会 木村 光男 氏



地域の安全のために、毎週土曜日と年末に夜回りを実施しています。また、町民の方を対象に、芦屋警察署の方などを講師に招いた防犯講習会を開催し、防犯意識向上を図っています。さらに、将来の地域防災・防犯意識向上を目指し、町歩きイベントの中で子どもたちを対象に防災・防犯に関する知識が身につくようなスタンプラリーも実施しました。

あくまでボランティア団体なので、できることを、できるときに、無理のない範囲内ではありますが、みんなで少しずつ協力し合い、皆さんが安全で安心して暮らせる打出小槌町のまちづくりのためにこれからも活動していきます。

芦屋市青少年育成愛護委員

活動について

芦屋市青少年育成愛護委員は、日常的な街頭巡視活動として、子どもの見守りや声かけ、昼夜のパトロール、通学路の点検、街路公園のクリーン活動などを通年で行っています。

小学校区ごとに班を編成し、月に1回の班会議を行い、情報交換と相互の交流に務めています。これらの活動により、多年にわたり青少年の健全育成と安全・安心のまちづくりに貢献しています。



インタビュー

芦屋市青少年育成愛護委員会会長 入江 祝栄 氏



自ら引き受けた愛護委員ではありませんでしたが、登校中に気分が悪くなった中学生を介抱した委員さんの姿を見て、掛け値なく人のために動く人のお仲間でありたいと思いました。

主な活動としては、各種会議への参加に加え、パトロールや朝のあいさつ、下校見守りなどを行っています。活動をする中で、地域のいろいろな人が子どもたちにくださったことが情報として入ってくると、うれしく思います。

青少年育成愛護委員会には子どもたちに愛情を持って暖かく見守っておられる方がたくさんいます。その時その時に子どもたちが抱えているものに寄り添い見守る活動を続けてまいりたいと思います。



●車にもものを積みっぱなしにしないこと！



おじいさんがゴルフに行こうとしたところ、車内に置いていたはずのゴルフバッグが盗まれていました。

芦屋市で発生している車上荒らしの多くが、車に積まれた**ゴルフバッグ**や**工具**を狙ったものです。車内にもものを置きっぱなしにしないことを心がけましょう。

また、自動車内だけでなく、自転車の前かごに入れっぱなしにしている荷物も狙われるので、買い物の際などは十分注意してください。



ゴルフバッグなどは必要なときに
車に積みましょう。



●アップロードする情報の内容や時間に注意！



お母さんが昼食の写真をSNSにアップロードしています。

SNSは自分の情報を発信し、様々な人とコミュニケーションをとることができる便利なツールです。しかし、情報をリアルタイムで共有することで、現在地や行動が見知らぬ人にも知れ渡り、**空き巣**や**ネットストーカー**の被害に遭う恐れがあります。また、写真の位置情報や、写っているものから居場所を特定される場合もあります。

公開する情報を見直す、知り合いにのみ公開する設定に変えるなど注意してSNSを利用しましょう。

また、大人だけでなく、子どもがSNSをきっかけにしてトラブルに巻き込まれる恐れがあります。

ご家族でスマホの使い方について話し合ってみてください。



個人情報や日常生活の様子を
アップロードする場合は
注意してください。

特殊詐欺



仕事でミスをして急ぎよ
300万円必要になった。
上司から連絡が
いくと思う。



それは大変。
わかったわ。



300万円を口座に振り込ん
でいただく必要があります。
ATMで手続きをしてもらう
ので、コンビニについたら連
絡してください。



わかりました。
すぐに
向かいます。



お昼過ぎ、おばあさんのところに息子を名乗るものから電話がかかりました。
仕事のトラブルでお金が必要になったということで、息子の上司から銀行でATMを使っ
て作業をするように指示を受け、おばあさんは銀行に向かうことにしました。
この対応は正しいのでしょうか。

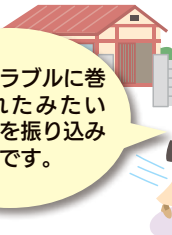


次のページで対処法を
確認してみましょう。

●困ったときは、まず相談！

①

息子がトラブルに巻き込まれたみたいで、お金を振り込みに行くんです。



あら、どちらに行かれるんですか？

お隣さん

②

確かにそうかも。1度相談してみます。



なんだかその話怪しいわね。警察に相談してみては？

③

詐欺の可能性あります。お金は振り込まないでください。



あやしい電話がかかってきたんですが。。

◎警察に相談してみましよう

④

仕事の電話してきた？



そんな電話してないよ。だまされたらだめ。

◎知っている番号にかけなおしてみましよう

⑤

早くコンビニへ行ってください。



もうだまされません！

⑥

おばあさんは無事にお金を取られずに済みました。行動するよりまず先に相談しましょう。



芦屋警察署生活安全課 藤井 義典 課長 より

芦屋市では、警察や百貨店など実在する機関を名のるオレオレ詐欺が特に多く発生しています。特殊詐欺は犯人の電話から始まるので、不審な電話がかかってきたときの対処法について普段から考えておきましょう。いざというときは一度電話を切り、ご家族やご友人、警察に相談してください。

また、自治会などで開催している防犯講話でお話を聞いていただくことが予防につながります。今まで参加したことのない方も、ぜひ一度ご参加ください。



特殊詐欺の手口

オレオレ詐欺

前のページのような息子をかたるもの以外にも、警察や百貨店、銀行協会（架空の団体）など様々な職を装って電話をかけてきます。例えば、口座の情報が漏れたので、安全な口座にお金を移すと言い、現金やキャッシュカードを要求してきます。



少しでも疑問に感じたら警察に相談を！



架空請求詐欺

メールや電話で「サイトの登録料が未納です」などの通知があり、裁判になると不安をあおってお金を請求するものです。

ATMでの振込みだけでなく、コンビニで買える電子マネーでの支払いを要求する手口も増えています。



身に覚えのない話は無視しましょう！



還付金詐欺

市役所職員をかたり、手続き期限が迫った還付金をATMを使って受け取るように促してきます。指示どおりにATMを操作すると、自身の口座からお金をだまし取られてしまうというものです。



公的機関からATMの操作を依頼することは絶対にありません！



この他にも様々な手口があります！少しでも怪しいと感じたらすぐ警察（0797-23-0110）に相談しましょう！



●契約のトラブルは消費生活センターに相談！



「訪問販売お断りシール」を無料配布しています。
断っている消費者への再勧誘は、県の条例違反となります。
一度家に入ると、長時間居座る悪質業者もいますので、防止策として有効です。

おばあさんのもとに、優しいような女性の声で「不用品をなんでも買い取ります」という電話があり、依頼すると業者の男性がやってきました。すると、男性は不用品だけでなく、貴金属を半ば強引に買い取ってしまいました。

このような場合、売りたい物の買取りを、きっぱりと断ることが大切です。しかし、売却してしまった場合でも、その日を含めて8日以内なら原則クーリング・オフが可能です。その間は物品の引き渡しを拒むこともできます。

困ったことがあれば、1人で悩まず**芦屋市消費生活センター（0797-38-2034）**や**消費者ホットライン（#188）**に相談しましょう。



「契約したけど、解約したい!!」
「この契約、おかしくない?」など、事業者との契約トラブルで困ったときはすぐ相談!

青色防犯パトロール



子どもたちが下校していると、青色の回転灯をつけた車に出会いました。

芦屋市では、小学生が安全に下校できる環境づくりを目的として、中学校区ごとに青色防犯パトロールを実施しています。小学生の下校時間に、青色の回転灯を装備した車が、子どもの安全を促す音声アナウンスを流しながら市内を巡回しています。

子どもの安全な下校に加え、犯罪の抑止にも効果があるとされています。

公益社団法人 芦屋市シルバー人材センターの皆様の声

○心がけていること

- ・寒い時期も窓を開け、手を振って「おかえり」と子どもたちにあいさつをしています。
- ・安全第一で、安全運転に気を付けています。
- ・子どもが危ないことをしていないか、不審者がいないかなどを注意して見えています。

○やっけてよかったこと

- ・子どもたちが手を振りかえしてくれたり、笑顔を見せられたりすると元気をもらえます。
- ・地域の方々に感謝の言葉をかけてもらえると、やっけてよかったと思います。





子どもたちが家に帰る様子を怪しい人が盗撮しようとしています。

子どもを狙った事件は、子どもの下校時刻である午後3時~6時の間に、人通りが少なくなる場所で多発しています。

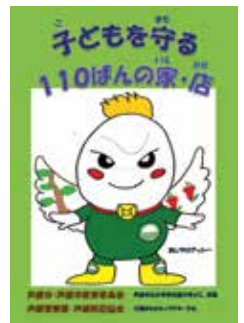
大きな声で助けを呼ぶ、近くにいる大人に助けを求める、防犯ブザーを携帯するなど、危険な目にあった時の対処法をお子さんと一緒に考えておいてください。

子ども110番の家・店

芦屋市には、オリジナルキャラクター「あしやのアッシー」が描かれたプレートをつけた**子ども110番の家・店**が多数あります。

困ったことがあれば、このプレートがついた家やお店の人に相談しましょう。

通学路や普段よく使う道の中で、子ども110番の家がどこにあるのかぜひ確認しておいてください。





●夜道を歩くときは特に注意！



危ない！お母さんのカバンが狙われています。

ひったくりは、**女性**や**高齢者**が狙われるケースが多い犯罪です。

以下のようなことに気を付けましょう。

- かばんは道路と反対側の手で持つ
- ガードレールがある場合はその内側を歩く
- 夜間の外出はできるだけ控える
- 自転車の前かごにひったくり防止ネットやカバーを付ける
- 歩きスマホをしない
- イヤホンで音楽を聴きながら歩かない



歩く場所やカバンの持ち手など
ちょっとしたことが対策に
つながります。

忍び込み対策



●必ず施錠を！



窓枠に設置するタイプの補助錠は簡単に取り付けられ、1つの窓に2つ施錠をすることで侵入盗の予防になります。

寝るときの戸締りはできていますか？

夜間の住居への**忍び込み**も、芦屋市で多く発生している犯罪の1つです。

芦屋市は東西の市域が狭いため、市外への逃げ道となる幹線道路の付近は特に狙われやすいです。

就寝中も戸締りを徹底しましょう。

また、集合住宅の2階以上に住んでいる場合でも狙われる可能性があるため、必ず施錠するようにしましょう。



ドアや窓をツーロックにしたり、
玄関にセンサーライトを
つけたりするのも有効です。

関係機関連絡先一覧

各種相談窓口

内 容	問合せ先	受付時間	電 話
緊急時	警察	24 時間	110
急を要しない相談	芦屋警察署	平日 9:00 ~ 17:45	0797-23-0110
	兵庫県警察本部 警察相談専用電話	平日 9:00 ~ 17:00	# 9110
地域の安全・安心に関するこ とで相談先がわからないとき	ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談	平日 9:00 ~ 16:00	078-341-1324
人権に関する相談	芦屋市 人権推進課	第 2・第 4 火曜日 13:00 ~ 16:00	0797-38-2055 ※予約受付は 執務時間(*)内
女性の悩み面接相談 (家事調停)	芦屋市男女共同参画センター	第 1 火曜日 10:00 ~ 12:00 第 3 金曜日 11:00 ~ 16:00	0797-38-2022 ※予約受付は 執務時間(*)内
女性の悩み面接相談 (こころの悩み)		金曜日 (第 3 金曜日を除く) 10:00 ~ 16:00	
契約など消費者トラブルに 関する相談	芦屋市消費生活センター	平日 9:00 ~ 12:00 12:45 ~ 16:00	0797-38-2034
	消費者ホットライン ※土日祝も対応 ※平日は近くの消費生活センター へつながります	土日祝 10:00 ~ 16:00	# 188
高齢者の総合相談窓口	東山手高齢者生活支援センター (朝日ヶ丘・岩園小学校区)	9:00 ~ 17:30	0797-32-7552
	西山手高齢者生活支援センター (山手小学校区)	9:00 ~ 17:30	0797-25-7681
	精道高齢者生活支援センター (精道中学校区)	9:00 ~ 17:30	0797-34-6711
	潮見高齢者生活支援センター (潮見中学校区)	9:00 ~ 17:30	0797-34-4165

* 執務時間：平日 9:00 ~ 17:30 (12:00 ~ 12:45 を除く)

この冊子に関するお問合せ先

芦屋市都市建設部建設総務課 TEL (0797) 38-2063

平成 31 年 3 月発行